

平成29年第2回木津川市議会定例会（6月22日）

一般質問通告書

1 尾崎 輝雄	
質問事項：行財政改革（ごみ袋有料化とごみ減量化の取り組み）について	
質問 要 旨	<p>ごみ減量化の取り組みは、地球環境を守る、地域の自然を守る、人に迷惑をかけないなど、人が社会で、さまざまな人と、個性を尊重し、地域社会を構成して暮らしていく上で、欠かすことのできない考えであると思います。</p> <p>特に、私たちの世代は、モノを大切にすること、社会に迷惑をかけないという考え方を教わってきました。しかし、現在では、デフレ・低価格競争などにより、モノの価格が安くなり、大切に扱うことを忘れ、捨てることを美德とはき違え、より多くのごみを出す傾向にあるように思います。</p> <p>そこで、（近隣の自治体でも導入している）ごみ袋の有料化が、ごみの減量化に有効であると考え、以下の質問を致します。</p> <ol style="list-style-type: none"> （1） これまでのごみ減量化の取り組みと成果は。 （2） リサイクル研修ステーション・廃棄物減量等推進員の活動内容と成果は。 （3） ごみ袋有料化の費用対効果をどのように考えているのか。 （4） ごみの収集方法による費用について。 拠点収集と戸別収集による1戸当たりの費用の差は。
質問事項：コミュニティバス運行を維持するには	
質問 要 旨	<p>市の財政状況が厳しくなる中、市民の移動手段となっているコミュニティバスを今後も維持していくには厳しいのではないかとと思われる。乗客数が年々減少し、運行経費が増加するとなれば、どのように運行計画をしていくのか。</p> <p>そこで、以下の質問を致します。</p> <ol style="list-style-type: none"> （1） 5路線（きのつバス、かもバス当尾線、かもバス（当尾線を除く）、やましろバス山城線、やましろバス神童子線）のそれぞれの乗客数の現況は。 （2） 5路線の収益率が低下していると思われるが、改善策は。 （3） それぞれの路線の乗客数を増やす対策は、どのように考えているのか。 （4） 今後の運行経費の削減は、どのように考えているのか。 （5） 自治体と事業者、地域住民が担う公共交通の役割分担は、どのように考えているのか。

2 森岡 譲	
質問事項：京大農場と市内農業者の連携は	
質問 要 旨	<p>京大農場が、木津川市に移転してきて、1年が経ちます。</p> <p>木津川市の農業についても、期待されるところであります。京大農場は、現在、「木津川市生きがい大学教養講座」の講演や「中学生の職業体験学習」、「木津川市による農場見学会」の開催などの連携はあるものの、あくまで研究所であるので、市として、どう関わりを持っていくのか、次の2点について聞きます。</p> <ol style="list-style-type: none"> （1） 市内の農業者との連携や農業指導については、どうなっているのか。 （2） また、今後の対応はどうなるのか。
質問事項：補助金制度の利用の促進を	
質問 要 旨	<p>木造住宅耐震改修等事業補助金や合併処理浄化槽設置整備事業補助金などは申し込み件数が少なく、毎年、減額補正されるが、せっかく予算化されても利用されないのは、何が原因なのか。利用促進のために、次の2点について聞く。</p> <ol style="list-style-type: none"> （1） 住宅耐震改修事業については、法律との関係があると思うが、市独自でできることも考えてはどうか。 （2） 合併浄化槽についても地域に出向いて、理解を深めてもらう努力も必要だと思うが。

質問事項：交流スペースの利用拡充を	
質問要旨	<p>市役所の住民活動スペースの利用は、各団体の展示など、年々利用が増えてきている。しかし、見学できるのは、市役所が開庁している時間帯だけで、土曜、日曜・祝日は休みになる。展示作品を見学するにも、平日に仕事をしている方はなかなか見学できない。いろいろ制約や条件があると思うが、住民活動スペースの利用は、夜間、土曜日、日曜・祝日も利用できるようにしてはどうか。</p>

3 山本 和延	
質問事項：市が支出する補助金の交付は適正か	
質問要旨	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成28年度の補助金交付事業は、何件か。 2 平成19年度と過去3年間の市が支出した補助金の総額は、いくらか。 3 補助金交付の変更や取り消しの事案は、あったのか。 4 全ての補助事業者等から、遂行状況の報告を受けているのか。 5 補助事業等が完了したとき、収支決算は、添付されているのか。また、審査および現地調査は、行っているのか。 6 補助事業等の目的や内容が適正であるよう、さらに精査検討が必要と考えるが。
質問事項：下水道管への接続率向上へ	
質問要旨	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成19年度からの接続率の推移は。また、旧町地区別では。 2 以前、山城地区に下水道への接続を促進する活動を行ったと思うが、その成果は。 3 木津地区の途中経過での成果は。 4 対象者の用地面積や高齢化等、さまざまな課題はあるが、接続率の目標値を設定して、さらなる接続率向上が必要と考えるが。

4 森本 隆	
質問事項：公共施設等総合管理計画の進め方について問う	
質問要旨	<p>公共施設等総合管理計画が、本年3月にまとまった。計画の詳細を見ると、消防施設・病院施設・クリーンセンター等、市が費用を負担する公共施設は計画の対象となっていない。</p> <p>下記の項目について、今後の進め方について問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 消防施設、病院施設、クリーンセンター施設について、市の基本的な考えは。 (2) 公共施設全体の基本方針として、新しい施設は造らずに長寿命化の推進、サービスの質の維持・向上とある。また、人口構造や社会情勢の変化に伴う新たな住民サービスに対応するとなっているが、市の人口構造は、地域ごとに大きく変化している。どのように、住民サービスを変えていくのか。 (3) 公共施設で、市民サービスに直結する社会教育施設（図書館・公民館）については、現行施設を今後30年も維持していくことになるのか。例えば、図書館は、人口増加した地域に本館を移動し、人口減少地域を分館等に対応すべきではないか。 (4) インフラ資産における道路管理について問う。 毎年予算審議で課題となっている道路の補修費用について、毎年補修に必要な額と予算化できている額の差は。また、今後、自動車の自動運転等を実現させるためには、品質の良い道路が必要と考えるが、市の考えは。 (5) 全国の先進地域をみると、民間資金を活用して、利便性の高い最新施設を多くの住民が住む地域で実現する取り組みを行っている。今後、市は、どのようなプロセスでまちづくりに取り組むのか。

質問事項：ふるさと納税の新しい提案	
質問要旨	<p>過熱する返礼品競争に揺れるふるさと納税の意義は、「納税者の選択」と考える。</p> <p>国や自治体が強制的に徴税する伝統的な税制に対し、たとえ一部でも納税者が自分の意思で納税先を選べるようにすることは、税金の使い道を国や自治体ではなく、住民が判断することに大きな意義があると考えます。</p> <p>以上のような背景のもと、下記について問う。</p> <p>(1) 平成28年度の市のふるさと納税は、WEBを使った方法を導入して、納税額が増加したが、昨年度と比較して、増加した理由と傾向をどう分析しているのか。</p> <p>(2) ふるさと納税の意義が、納税者の意思で納税先を選択できるのであれば、住んでいる市へのふるさと納税が可能だと思う。特に、「図書館を充実させたい」「公園の遊具の整備」等用途を限ることは住民のニーズも高いと思うが、市民がふるさと納税することは、可能なのか。</p> <p>(3) 近隣の長岡京市では、WEBでのふるさと納税の用途を限定することで成功している。本市も市制10周年となり、市で育った若者が、他市で活躍している人数も多くなっている。</p> <p>彼らがふるさと（実家）に帰ったときに、「図書館の本を充実させたい」「遊歩道にベンチが欲しい」「公園の遊具を充実させたい」等のニーズに応えるために、ふるさと納税の用途を行政区別メニューに細分化できないか。</p>

5 倉 克伊	
質問事項：市民の安全な住環境を作るために	
質問要旨	<p>市では、市民が安全な生活を営むために、住環境の保全にいろいろな施策を実施されている。しかし、今後30年以内に発生すると言われて久しい東海地震や東南海・南海地震に対し、市民の安全対策は、まだ十分ではない。</p> <p>そこで、市が実施している耐震補強やシェルターなどの活用状況やその問題点について聞く。また、地元の事業者の育成にどのように関連付けているのか。</p> <p>併せて、空き家対策や廃屋対策の市の現状と取り組みについて、以下のことを聞く。</p> <p>(1) ① この3年間の耐震診断と耐震改修助成の利用状況数（本格改修および簡易改修）は。また、シェルター設置補助事業の利用数は。</p> <p>② 今後、この事業が大変重要となってくるが、市民へのPRと利用拡充に向けた取り組みは。</p> <p>③ URなどの開発に伴い、住宅の建築戸数は増えているが、昨年の新築戸数と地元事業者の割合は。</p> <p>(2) ① 市では、本年3月議会に上程された「空家等対策計画」について、年度内に策定をする予定だが、「木津川市空家等対策協議会」の設置と開催状況は。また、「木津川市空家バンク」を創設したが、その取り組み状況は。そして、今後、市として、これらをどのように活用するのか。</p> <p>② 「特定空家等」について、市が把握している状況は。その中で、特に危険と思われる戸数とその指導などの状況は。</p>
質問事項：学校給食センターについて	
質問要旨	<p>3月議会に、新学校給食センター建設に向けた、設計業務に係る債務負担の費用が計上された。そもそも、今回の建設に向けた動きは、児童数の増加に伴う食数の不足や、木津学校給食センターの老朽化、また、山城学校給食センターの設備の老朽化等はもちろんであるが、その他の大きな要因として、学校給食衛生管理基準に両センターが適合していないことや、2つの施設を1つに統合することで、合併推進債による約6億円（試算）もの金額が、後年度に国からの交付措置があることなど、持続可能な財政運営面から考えても極めて大きい。</p>

そこで、子どもたちに安心・安全な衛生管理のもとで、おいしく栄養のとれた給食の提供や、地産地消の推進と地元雇用の拡充について、お聞きする。

- (1) 市全体の学校給食を、世界保健機構の推奨する衛生管理手法のHACCPに基づき進めたいとのことだが、2つの現センターでは何が不適合で、どのような改修が必要なのか。
- (2) 施設などの老朽化は、否めない事実である。3月議会で、山城学校給食センター存続の請願が提出されたが、そのためには、子どもたちに安全な給食を提供するにあたり、別々に木津・山城の両センターを学校給食衛生基準に適合するよう建て替えや改修工事などを行う必要となったはずだ。その時の工事費用の試算は行ったか。
- (3) 新センターでも、地産地消に取り組む方針と聞くが、どのような内容を検討されているのか。
- (4) 現在、センターには市民の方が多く従事されている。今後、地元雇用の充実・拡大についての市の考えは。
また、約7千食と食数が増えることによる食中毒等によるリスクが大きくなることが考えられるが、その対応はどうするのか。
- (5) 新センターが完成するまでに、すでに給食数は限界に達すると考えるが、市の考えと不足分の対応はどうするのか。また、今後の工程を急ぐ必要はないのか。

平成29年第2回木津川市議会定例会（6月23日）

一般質問通告書

1 河口 靖子	
質問事項：天理加茂木津線における諸問題	
質問 要 旨	<p>国土交通省が施工していた赤田川樋門が完成しました。その工事にあわせて、現在、一級河川赤田川河川改修・護岸工事が、施工されています。</p> <p>これらの工事は、数年前から会派で国・府に要望してきたことが実現できたものです。そして、大野地区の狭隘道路の拡幅または別路線への改善についても、3年前から要望してきた中、今年度の京都府の公共土木事業実施予定の中に、主要地方道天理加茂木津線（加茂町大野）整備区間の測量調査事業費として、1千万円が計上されました。</p> <p>天理加茂木津線は、木津川市の加茂地区と木津地区を東西に連絡する道路で、地震直後から発生する緊急輸送を円滑に行うため、市役所と加茂支所を結ぶ経路として、第2次緊急輸送道路に指定されている重要道路です。</p> <p>これらのことを踏まえて、以下のことを問います。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 加茂町大野整備区間の状況について。 <ol style="list-style-type: none"> ① 計画している路線の位置（起終点）はどこか。 ② 事業延長および幅員計画の見通しは。 ③ 工期の見通しは。 (2) 鹿背山地区内の狭隘部分については、改善される見通しか。
質問事項：子ども貧困支援の拠点と脱ひきこもり等の支援は	
質問 要 旨	<p>昨今、さまざまな課題を抱える子ども（生活困窮・ひとり親世帯等）に対し、地域の人々が協力して、生活習慣の確立や学習習慣の定着支援、食事の提供などを行う団体・個人が増えてきています。</p> <p>一方、発達障害を持った子どもたちへの理解や対応が大切になってきており、心を開いて相談できる場所が本市内にあるのか心配をしているところです。これらの内容を行政はどのように対応・把握しているかを問います。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 市内にある団体または個人が運営する施設は、何カ所あるのか。 (2) 団体の活動内容と利用状況は。 (3) 市は、府の事業である「きょうとこどもの城づくり事業」を活用するよう連携しているのか。 (4) 子どもの貧困対策ネットワーク会議の設置予定は。 (5) 脱ひきこもりに対する抜本対策は。 (6) 発達障害者・児に対する支援状況は。
質問事項：運転免許証自主返納者に対するの対応	
質問 要 旨	<p>平成28年第1回定例会の一般質問で運転免許証自主返納者に対するの対応を問いました。その時に総務部長より、木津川市コミュニティバス1日フリー乗車券10枚つづり4千円分の交付を実施するとの回答を得ました。</p> <p>先日、運転免許証を自主返納した方から、「1日フリー乗車券」が送られてきたが、使い方が分からないと相談されました。使用方法の説明文を入れるなど、行政は高齢者に対して分かりやすい対応を行うべきだと思います。</p> <p>そこで、市民サービスについて、以下の点を問います。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 「1日フリー乗車券」の交付方法は。 (2) 木津川市コミュニティバス1日フリー乗車券の市民の認知度と利用状況は。 (3) 木津川市独自の「1日フリー乗車券」について、他の運送事業者への周知を行っているのか。 (4) 交付種別を増やす考えは。 (5) 市のさまざまな取り組みについて細やかな工夫をするなど、高齢者等の目線で、市民サービスの向上を行う必要があると考えるが、どうか。

2 西岡 政治	
質問事項：合特法に基づく合理化事業計画の策定等を問う	
質問要旨	<p>国は、市町村の下水道整備等が行われることにより、その経営の基礎となる諸条件に著しく変化を生ずることとなる一般廃棄物処理業について、「下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法」（以下「合特法」という。）を昭和50年に制定しました。</p> <p>合特法第3条で、市町村が「合理化事業計画」を定め、都道府県の承認を受けることができると規定し、また第4条で変更規定が定められています。合理化事業計画の主な内容は、①事業の転換のための援助、②転廃交付金の交付等です。</p> <p>本市の場合、平成15年1月、旧町ごとに実施期間を平成14年度から平成18年度までの5年間とした合理化事業計画が策定され、計画期限が切れた状況で現在に至っています。</p> <p>そこで、次の事項をたずめます。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 合特法の取り組みの経過。 (2) 大谷処理場運転維持管理業務委託料の内、し尿・浄化槽汚泥業務委託料と合特法対象費用の区分は。 (3) 合特法に準じた措置代替業務をいつまで提供するのか。 (4) 搬入量の減少に伴う減車等、業者の統廃合は。 (5) 合特法第3条の規定に基づく合理化事業計画の策定を。
質問事項：集中豪雨に備え天井川上流対策を	
質問要旨	<p>本市の天井川は、府内の1級河川の天井川、23河川のうち6河川（6.57km）で、府内天井川全体の26%を占めています。</p> <p>京都府は、平成24年8月14日発生の南部地域豪雨による宇治川支流の弥陀次郎川の決壊を契機に発足した、「天井川に関する技術検討委員会」の検討状況を踏まえ、府単独公共土木事業として、木津川市内の天神川・不動川・鳴子川・新川の点検・調査のため、平成28年度までに3億6千万円を計上し、平成29年度は、天神川・不動川の護岸・堤防強化と鳴子川・新川の調査・詳細設計に5千8百万円を予算計上し、天井川対策に力を入れています。</p> <p>本市も府と並行し、天井川上流対策に取り組むべきとの立場から、次の事項をたずめます。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 京都府事業の内容は。 (2) 京都府の「技術検討委員会」による検討内容を承知しているか。 (3) 市内天井川上流の平成26年度以降の点検・調査、また対策した結果は。 (4) 河川敷の管理の徹底、土石流対策、流木防止対策等についての今後の取り組みは。

3 伊藤 紀味枝	
質問事項：将来を見据えたまちづくりを	
質問要旨	<p>JR木津駅周辺には、国や京都府の公共施設等が集中しており、市のみならず相楽地域の暮らしのシビックゾーンとしての役割を担っています。</p> <p>このことに伴い、インフラ整備が急務となっています。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) JR木津駅に通じる東西の道路が分断されており、駅西と駅東を結ぶ道がない。以前にも質問しましたが、山城広域振興局木津総合庁舎前の市道木43号と木津駅前東線を結ぶ南北ルートを進めていくとのことであったが、いまだに進展がない。用地買収を一刻も早く進めるべきである。 (2) 木津駅東口は、中心市街地と城山台の間に位置している。現在、農振農用地であるが、住民の意向は、どうなのか。木津駅東口の駅前開発をどのように考えているのか。 地形的な問題として、雨水排水の関係があると思うが、市としては、どのように考えているのか。 (3) 国道24号の整備が進められているが、まだ、用地買収が進んでいない所がある。他の議員も質問されているが、一向に整備されていないところがある。今後の取り組みは。

質問要旨	<p>(4) 地域高規格道路宇治木津線について問う。</p> <p>① 国道163号バイパスとして、天神山線、東中央線、木津川架橋がつながることにより、地域力が高まる。進捗状況は。</p> <p>② 国道24号は、木津川堤防上を通過しているが、木津川沿いで液状化危険度が高いとされており、集中豪雨で堤防の決壊等も心配されることから、国道24号の代替道路となる宇治木津線の整備が急務である。</p> <p>本市のまちづくりを進める上で、学研地域や観光・農業をはじめ、地域の活性化、防災のライフラインとなる重要な道路と考えるが。</p> <p>③ 2023年度開通予定の新名神高速道路に伴うスマートインターチェンジ設置が検討されているが、宇治木津線の概略ルートは、決まっているのか。</p> <p>④ 北から整備されると想定されるが、南からも進めるべきと考える。沿線の関係市町と連携して進めるべきと思うが、市としての取り組みは。</p> <p>(5) 市道木335号の沿線には、市役所をはじめ商工会・簡易裁判所・保育園・小学校・図書館と施設が並んでいる。</p> <p>関西アーバン銀行前からリサイクル研修ステーションまでには歩道もない所があり、木津小学校前は、スクールゾーンで安心・安全をいわれている中、大変危険な道路となっている。現実に何度も事故が起こっている。</p> <p>先日も木津小学校の西側の水路に児童が落ち、けがをしました。木津町地域の方から要望書が提出され、市より対応するとの回答であったと聞き、少し安心しているところです。</p> <p>木津交差点からリサイクル研修ステーションまでの間を安心して歩けるように、市として得策はあるのか。</p>
------	---

4 宮嶋 良造	
質問事項：国保税を値上げしないこと	
質問要旨	<p>1 2016年度現年度分の国保税の滞納は、いくらになりますか。</p> <p>2 現年度の滞納が改善されたとはいえ、5%を超えています。国保税が払えないのは、国保税が高すぎるということではないですか。</p> <p>3 国保税（額・率）は、来年4月実施の府一元化でどうなりますか。見通しを示してください。</p> <p>4 仮に国保税の値上げが必要な場合は、一般会計から繰り入れを行い、国保税の値上げを行わないと表明してください。</p> <p>5 2016年度、国保税の徴収猶予、減免と一部負担金の減額、免除および徴収猶予は、どうなっていますか。</p> <p>6 一部負担金の減額、免除および徴収猶予制度を広く市民に知らせ、減額・猶予の適用を広げることを求めます。</p> <p>7 無料低額診療所をホームページなどで、案内してください。</p>
質問事項：介護保険料を値上げするな	
質問要旨	<p>1 第6期の保険料値上げは、必要なかったのではないですか。現時点での見通しを示してください。</p> <p>2 基金を繰り入れるなどして、次期の介護保険料を引き上げないことを求めます。</p> <p>3 介護保険は、保険料の値上げと利用料の負担割合が増えるなど、国民負担は限界であります。介護保険制度費用の5割を国民が負担するなどの仕組みを変えるよう、（負担軽減を）国に強く求めてください。</p>
質問事項：ドラッグストアは研究開発地区にふさわしいか	
質問要旨	<p>1 ハイタッチリサーチパーク内に計画されているドラッグストアは、研究開発地区にふさわしくありません。なぜ、研究所ではなく、ドラッグストアになったのか、経過を明らかにしてください。</p>

質問要旨	<p>2 今後も、研究開発地区内の未利用地に商業施設を認めるのですか。研究開発地区建設条例にある「関西文化学術研究都市にふさわしい研究開発地区の発展とその環境の保護を確保する」との目的に反しませんか。</p> <p>3 市長が進める「トップセールス」とは、何ですか。</p>
質問事項：ごみ有料指定袋制度をやめよ	
質問要旨	<p>1 ごみ有料指定袋制度という強制力でごみを分別・減量することには、限界があります。ごみの分別減量は、市民の自覚や工夫なしでは成功しません。ごみ有料指定袋制度は、やめるべきです。</p> <p>2 資源ごみの回収を増やし、生ごみを減らすために、古紙回収や生ごみ処理容器への補助金を増やすことを求めます。</p> <p>3 新たな生ごみ処理容器の貸出事業（モニター制度）は、いつから始まりますか。</p> <p>4 集合住宅や他市町との境界などでのマナー違反に、どう対応しますか。</p>

5 谷口 雄一	
質問事項：家庭系ごみ有料指定袋制導入に向けた基本方針を問う	
質問要旨	<p>平成25年12月に、家庭系ごみ減量施策について、市長より市廃棄物減量等推進審議会に諮問され、昨年11月に答申がなされました。今月、その答申を受けて、家庭系ごみ有料指定袋制導入に向けた基本方針が策定されました。事前のパブリックコメントでは、多くの意見が寄せられ、改めて市民の方々の強い関心を感じたところです。</p> <p>市のごみ処理の現状を鑑みて、家庭系ごみ有料化の方針は理解しますが、その効果として、ごみ減量化の着実な推進を期待し、基本方針の内容と今後の取り組みについて、質問いたします。</p> <p>(1) 平成25年1月策定の市ごみ減量化推進計画（もったいないプラン）について、現時点までの検証と成果は。 また、平成37年度の目標値である、可燃ごみ30%減量・リサイクル率40%とする根拠は。</p> <p>(2) ごみ減量化に向けて、手付かずの食品の抑制と、資源化が可能な雑がみの分別促進が不可欠としているが、具体的な対策は。</p> <p>(3) 将来において、資源ごみや粗大ごみ有料化の可能性は。</p> <p>(4) 市廃棄物減量等推進審議会の答申では、家庭系ごみ有料化の導入に際し、広く市民の理解が得られるよう、その周知・啓発にあたっては、担当部署のみならず、市長以下職員が一丸となって取り組まれることを望むとあるが、基本方針には、どのように反映しているのか。 また、市民の方々に、より受容いただくための施策と、社会的配慮の範囲をどのように考えているのか。</p>
質問事項：お茶の京都DMOとの連携と観光戦略を問う	
質問要旨	<p>平成29年3月、お茶の京都の観光地域づくりの中核組織、地域商社として、お茶の京都DMOが設立されました。本年度がターゲットイヤーである「お茶の京都博」を一過性のイベントとせず、将来にわたって地域の活性化をけん引していただき、山城地域の観光戦略のかじ取りを担っていただくことを大いに期待し、質問いたします。</p> <p>(1) 平成29年度と次年度以降のDMOの予算規模と市の負担額の見込みは。 社員として、管内の12市町村の首長が参加するが、その役割は。また、市として、DMOに期待する役割をどのように捉えているのか。観光協会と商工会と連携した市の体制は、どのようなものか。</p> <p>(2) 市の観光客数と観光による消費額について、近年の動向と分析は。</p> <p>(3) 市の宿泊施設の詳細と、ホテル等の宿泊施設の誘致計画は。 宿泊施設が少ない市にとって、観光客を増やし、地元で消費していただくためにどのような戦略を考えているのか。DMOでは、府南部の山城地域を周遊するいわゆる着地型の旅行商品の開発や販売を手掛けるとしているが、ルートに採用されるべく、積極的な観光資源のPR等の取り組みは。</p>

平成29年第2回木津川市議会定例会（6月26日）

一般質問通告書

1 谷川 光男	
質問事項：文化施設等の利用状況は	
質問 要 旨	<p>市の教育・文化施設の会館等は、市民相互の交流と地域活動の振興・文化向上や福祉の増進を図り、住みよい街づくりを推進するために設置された施設を指定管理等の活用により、効率的な利用をされていると思いますが、その状況等について、お尋ねします。</p> <p>(1) 教育・文化施設の利用状況と稼働率等について伺う。</p> <p>(2) 平成27年3月1日に開所され、2年が経過した山城支所別館の利用状況および稼働率等について伺う。</p> <p>(3) 文化施設等の休館日が、月曜日となっているが、一部見直しをする考えは。</p>
質問事項：企業誘致への助成金制度の成果は	
質問 要 旨	<p>市内への企業の立地を促進し、地域経済の活性化および雇用の創出を図るため、助成制度を設け、市長を中心に企業誘致活動に取り組まれてきました。その結果、合併以降10年で、ロート製薬(株)他19社の企業を誘致し、企業雇用総数1,356人のうち、木津川市内の336人の方が雇用され、市の人口増に、一定の成果をあげられたことは、喜ばしいことだと私も思っています。</p> <p>そこで、お尋ねします。</p> <p>(1) 企業を誘致されたことによるメリット・デメリットは。</p> <p>(2) 進出企業と既存する地元中小企業との関係・連携は。</p> <p>(3) 残っている3カ所への立地予定地の進出見込みは。</p>
質問事項：空き家対策の進捗は	
質問 要 旨	<p>全国的に、少子高齢化、人口減少（木津川市は増加）が進んでいますが、過去に開発されたニュータウンおよび旧集落は、新ニュータウン（UR開発）と比較して、急速に高齢化が進み、空き家が生じています。</p> <p>国では、空き家対策特別措置法が制定され、各自治体がその取り組みを進める中、府・市では、その一端として、耐震補助制度により住宅の安全と利活用の促進をされていますが、その状況と市の今後の考えについて、お尋ねします。</p> <p>(1) 耐震診断・改修補助制度の現状は。</p> <p>(2) 防災面等で周囲に不安を与える空き家の現状と対策は。</p> <p>(3) 空き地の雑草、苦情トラブルの現状と対策は。</p> <p>(4) 木造住宅の除却補助（家の取り壊し）制度の考えは。</p>
質問事項：通学路をより安全に	
質問 要 旨	<p>児童・生徒の通学路において安全対策上、有効的であると判断し、関係部署とも連携しながら、街頭防犯カメラの設置を進められてきましたが、既存の施設の補修も重要と考えます。横断歩道の区画線が不鮮明な箇所の補修や、カーブミラーの腐食やゆがみ、歩道蓋のガタツキ等、歩行上問題があると思われる箇所をよく見かけます。</p> <p>また、通学路における事故多発地帯の車両事故も、いまだに発生している現状で、関係機関の調整が進んでいないのではないかと考えられます。</p> <p>そこで、お尋ねします。</p> <p>(1) 街頭防犯カメラの設置状況と今後の予定は。</p> <p>(2) 通学路の定期点検の実施状況および市民からの通報件数と処理件数等について伺う。</p> <p>(3) 通学路における事故多発地帯（交差点）の安全対策について伺う。</p> <p>(4) 市街化区域内で住宅が密集している市道で、現在、砂利道である路線数や地域（場所）等について伺う。併せて、その道路の舗装計画についても問う。</p>

質問事項：豪雨シーズン危機への備えは大丈夫か	
質問要旨	<p>ゲリラ豪雨や都市型水害、大規模な土砂災害が毎年のように発生しています。また、短時間強雨も予想されますが、木津川市の防災対策の進捗状況と整備検討結果について、お尋ねします。</p> <p>(1) 災害時におけるレンタル機械の状況および協定書の締結件数、内容、今後の予定等について伺う。</p> <p>(2) 市民から、防災行政無線に対する「聞こえない、聞き取りにくい」という問題について、市が業者（設計、施工）と調整した結果について、詳細に伺う。</p> <p>(3) ハザードマップの山城地域洪水標識板設置について、国土交通省との協議結果を伺う。</p>

2 西山 幸千子	
質問事項：リスクを減らす努力を	
質問要旨	<p>他に誇れる加茂学校給食センターの「アレルギー除去食」と、地元産食材を多数使って、地元農家との交流が素晴らしい山城学校給食センター。これらは、比較的小規模なセンターだからこそ実現できています。</p> <p>(1) 市が実施しようとしている7千食規模の新センターで、アレルギー除去食は、どの程度対応できますか。</p> <p>(2) レベル1とレベル4の違いを説明してください。市が目指す「アレルギー対応」は、どのレベルですか。</p> <p>(3) 市民向けに出された新センターの説明文の中で、「地産地消を推進します」とありますが、現状はどうか。木津・加茂・山城の各センターで昨年使用した地元食材を、一番多い月でそれぞれ何種類あったか、お答えください。</p> <p>(4) 安全安心のためにも、山城学校給食センターの厨房機器の更新を進めるべきではないですか。</p>
質問事項：高齢者に交通手段の確保を	
質問要旨	<p>高齢者に運転免許証の返納を促進するために、市は、コミュニティバス1日乗車券を昨年から交付しています。しかし、返納を考えている高齢者からは、「コミバスももっと便利ならば」との声も聞きます。</p> <p>(1) 運転免許証返納の実績と1日乗車券の交付数はどれくらいですか。運転免許証の返納を躊躇する理由、また、解決方法をどのように考えていますか。</p> <p>(2) 市内には、奈良交通バスもたくさん運行しています。「敬老乗車証」などを導入し、高齢になっても、住み慣れた地域で住み続けられる手だてを確保すべきではないですか。</p>
質問事項：平和をしっかりと子どもたちへ引き継ぐために	
質問要旨	<p>今年も今月26日に「原水爆禁止平和大行進」が、木津川市を訪れます。また、7月10日には「日本山妙法寺平和行進」の方たちも木津川市へ、そして、奈良市へと行進します。過去にたくさんの人たちの犠牲があり、その犠牲の上に戦後ずっと守り抜いてきた平和。それを子どもたちを未来へとつないでいくことが大切です。</p> <p>(1) 平和首長会議にいつから加盟していますか。加盟して、具体的にどのような行動をしていますか。</p> <p>(2) 今、子どもたちは学校で「平和」をどのように学んでいますか。</p>

3 酒井 弘一	
質問事項：保育所民営化等計画は大幅な修正を	
質問要旨	<p>市は、昨年末に「公立保育所民営化等実施計画（案）」を策定し、12月から1カ月間のパブリックコメントを実施した。</p> <p>その結果、市民から異例の100件もの意見が出され、その大半は「計画は乱暴すぎる」と批判的で、今回の計画に反対する内容が多く寄せられていると思われる。1つの保育園では、保護者会が署名に取り組み、反対の申し入れを行ったと聞く。そこで伺う。</p>

質問要旨	<p>(1) 特徴的な市民の意見は、どのようなものであったか。</p> <p>(2) 市民の意見を受けて、市は保育行政を民間に丸投げする方針をやめるべきだ。併せて、計画を大幅に修正すべきと考えるが、どうか。</p> <p>(3) 今年度、すでに22人の待機児童があると聞く。どのような待機なのか。今後、子どもと保護者に1年間またはそれ以上待たせるのか、年度内の早期解決をどう目指すのか。</p>
質問事項：納税通知書に個人番号は記載すべきでない	
質問要旨	<p>今年5月、市は、事業所宛てに給与所得等に係る市民税・府民税特別徴収税額の決定通知書を発送した。その通知書には、従業員の個人番号が記載されていた。</p> <p>国は、納税通知書に関して「適正に通知すること」と言うだけで、普通郵便での通知を容認する等極めて不適切な指導を行ってきた。その結果、全国自治体の戸惑いがあり、結果としてさまざまな対応の違いを生んでいる。また、簡易書留であれ、普通郵便であれ、府内でも全国でも誤送付の事件が発生していることは重大である。</p> <p>事業所宛ての納税通知書に従業員の個人番号を記載することは、個人のプライバシー権の観点から誤りである。また、簡易書留という不要な出費を自治体に課すやり方に対して、国へ申し入れを行うとともに、個人番号の記載をやめるべきと考える。市は、今後どう対応するか。</p>

4 島野 均	
質問事項：子育て世帯の住宅取得支援策等を	
質問要旨	<p>1 木津川市に住みたい、住み続けたいという子育て世帯が増加するよう、市外からニュータウンに転入されてきた世帯に対し、優遇策として、助成制度を創設しては。そして、水道代の基本料金を1年間無料にしては。</p> <p>2 次世代を担う子どもの誕生を市全体で祝福し、子育て世帯の経済的支援を目的として、子どもを出産した保護者に対し、子ども誕生おめでとう出産祝い金を支給しては。</p>
質問事項：JR学研都市線の雑草問題	
質問要旨	<p>JR学研都市線（西木津―木津間）沿いの南後背バス停付近の道路（市道木335号）は、線路沿いの金網フェンスから雑草がはみ出し、大変危険で歩行困難な状態となっています。JRに対して、草刈り等の交渉を願いたい。</p>
質問事項：ひきこもり対策は	
質問要旨	<p>政府は、一億総活躍社会で、若者も高齢者も、女性も男性も、障がいのある方も、一度失敗を経験した方も、一人ひとりが家庭や地域、職場で自分の力を発揮し、生きがいもてる社会を実現するための政策を打ち出した。</p> <p>市は、ひきこもり対策として、児童・成人にどのように対処しているのか。</p>

5 柴田 はすみ	
質問事項：教員の負担軽減を	
質問要旨	<p>文科省が、4月に発表した教員勤務実態調査結果で、国が示す「過労死ライン」とされる週20時間以上の残業を行った中学校教員は、57%に上った。</p> <p>経済協力開発機構の国際教員指導環境調査によると、1週間当たりの教員の勤務時間は、参加国・地域の中で日本が最長であり、その中でも、部活動など課外活動の指導時間は、平均の3倍以上であった。</p> <p>そこで、教員の負担軽減策について、質問する。</p> <p>(1) 市の教育委員会は、文科省が公表した「平成28年度教員勤務実態調査」の集計について、どう認識しているか。</p> <p>(2) 市の小中学校の勤務実態状況は。また、どう認識されているか。</p> <p>(3) 長時間勤務の改善の取り組みは。</p> <p>(4) 部活動に外部人材や、地域の協力等の考えは。</p>

質問事項：切れ目のない子育て支援を	
質問 要 旨	<p>母子の健康と子どもの健やかな成長を目指し、公明党が進めてきた妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援について、厚生労働省は、2017年度から新たな事業を実施する。産後うつ予防などの観点から出産後間もない産婦の検診費用を助成するほか、先天性の聴覚障害の早期発見に向けて、新生児聴覚検査の推進体制を整備する予算が盛り込まれた。</p> <p>そこで、子育て支援について、何点か質問する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 妊産婦の相談窓口は。また、現在の市の対応は。 (2) 乳幼児の虐待件数と現在の市の対応は。 (3) 国の今年度予算に、出産後間もない産婦の検診費用の助成や、新生児聴覚検査が計上されたが、市としてどう対応する予定なのか。 (4) 母子手帳や父子手帳、子育てアプリなどの現状と利用状況は。 (5) 認定こども園が本年度から7カ所開設されたが、保育や教育の状況は。また、保育士不足にはなっていないか。
質問事項：防犯カメラや市公用車へのドライブレコーダー設置を進めよ	
質問 要 旨	<p>最近、さまざまな事件や事故の解決に、防犯カメラやドライブレコーダーの映像が利用されている。</p> <p>市としても、計画的に防犯カメラの設置は進めているが、将来的にどうしていくのか、考えを質問する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 市内の防犯カメラの設置状況は。また、これからの予定は。 (2) 防犯カメラを設置するにあたっての問題点はないか。 (3) 現在、ドライブレコーダーを設置している公用車は何台か。 (4) 運転者の安全意識向上や警察への犯罪捜査などに協力することで、安全・安心のまちづくりを推進できると思うが、これからドライブレコーダーを増やしていく考えは。

平成29年第2回木津川市議会定例会（6月27日）

一般質問通告書

1 高岡 伸行	
質問事項：2020ホストタウンで活性化を	
質問 要 旨	<p>2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されるにあたり、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等の資する観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る目的により、全国各地で地方公共団体が「ホストタウン」として、名乗りを上げています。</p> <p>そこで、質問します。</p> <p>(1) オリンピック・パラリンピックを契機として、選手や関係者等の呼び込み、ホストタウンとして取り組む考えは。</p> <p>(2) 大会期間中、選手や関係者、観客等数多くの外国人が日本を訪れます。通訳や道案内のボランティア等、交流する機会が増えると期待が高まっていますが、市として、どのように関わろうとしているのかお尋ねします。</p>
質問事項：学校現場での働き方改革を	
質問 要 旨	<p>京都府教育委員会は、本年度「教職員の働き方改革推進本部」を設置し、先日、第1回推進会議が開かれました。府内の市町教育委員会や学校現場と連携し、全教職員の残業時間や業務内容を把握した上で、業務改善や、部活動指導の負担軽減策を考えようとしています。</p> <p>そこで、質問します。</p> <p>(1) 現在、市教育委員会では、先生方の多忙化対策の一つとして、部活動における外部指導者を活用しています。</p> <p>平成28年第4回定例会において一般質問を行いました。府教育委員会では教員に代わって、部活指導し試合に引率できる「部活動指導員」を配置する体制を取り、効果を検証しようとしています。そこで市の対応は。</p> <p>(2) 平成25年度から実施されている「木津川市立中学校運動部活動連携事業」ですが、平成28年第4回定例会一般質問での答弁では、1名の生徒が利用されているとのことでしたが、今年度の利用状況は。</p>

2 九社前 聿朗	
質問事項：保育園の民営化等実施計画方針を問う	
質問 要 旨	<p>先日の南加茂台自治会定期総会（約5,760名）において、「南加茂台保育園入園児が減少し、廃園が計画されている。地域に若い夫婦の方を増やす取り組みをしてはどうか。」という意見など、心配する声があった。</p> <p>そこで、公立保育所民営化等実施計画方針についてを問う。</p> <p>(1) 公立保育所民営化等実施計画（案）、公共施設等総合管理計画が公表され、両計画では、計画の整合性や公民協働による保育園の運営を目指している。</p> <p>しかし、今求められている将来の課題は、公設公営方式で、幼保連携プラス高齢施設である。既存のままの施設で、幼保高連携施設型に計画を追加してはどうか。</p> <p>(2) この計画の趣旨は、①入園児減少による統廃合か、②民営化のための統廃合か、③行財政改革の視点からの統廃合か。また、昨年12月にパブリックコメントを実施したが、結果は。</p> <p>(3) 施政方針で、子育て支援は戦略の柱であり、働きながら子育てできる環境づくりに努めるとある。また、「すこやか木津川21プラン」では、高齢期は、交流の中で地域社会に関心を持ち、地域行事に積極的に参加する、積極的に外出するとある。保育園との交流は、高齢者の生きがいとなる。少子高齢化問題を包括的に捉えるならば、時代に逆行した統廃合方針と思うが、市長の所見を示されたい。</p>

質問事項：新設道路事業と府道・市道等のアクセスを問う	
質問要旨	<p>東中央線の供用開始まで1年半となったが、交通量の数値シミュレーションをするためにも、東中央線、府道の交通量予測数値を示されたい。</p> <p>また、府道天理加茂木津線から環境の森センター・きづがわへのごみ搬入経路について、木津川架橋と府道の交差点付近の混雑を加味して、交通量、時間帯、車種等搬入経路台数を示されたい。</p> <p>(1) 環境の森センター・きづがわへのパッカー車の搬入想定台数は(木津川市、精華町ごと)。</p> <p>(2) 府道天理加茂木津線と市道が交差するJR学研都市線踏切付近の時間帯別交通量の数値を示されたい。</p> <p>(3) 広域幹線道路網の中心で、市町村の生活に欠くことができない相楽中部消防組合消防本部が、木津川架橋と府道交差点付近にある。交通量の増加による火災消防出動や救命救急出動に影響が出ないような道路構造となっているのか。</p> <p>(4) 府内最北端にある京丹後大宮ICと府内最南端木津ICまでが、高速道路でつながり、府の南北を直結する高速道路軸が完成した。そこで、人、物、教育、観光、経済等について、市の拡大戦略を具体的に示されたい。</p> <p>例えば「海の京都・丹後×お茶の京都・木津川市」、城陽市のアウトレットモール誘致計画など。</p>
質問事項：新校舎竣工を実地に見て問う	
質問要旨	<p>伝統校の棚倉小学校校舎を見て、思い出したことがある。</p> <p>平成27年8月28日提出された、議案第63号「棚倉小学校校舎改築工事変更契約の締結について」である。議会の議決を求めるのに、変更契約の説明があったが、普通教室児童用棚、教師用棚、保健室収納棚、図書室書架、昇降口児童用靴棚(下足棚)が当初の設計から欠落し、変更契約に、説明なく追加計上されていたことである。</p> <p>そのことを思い出し、現地確認をしたが、平常授業の時間帯であるため、よく分からなかったことから、次の事項について問う。</p> <p>(1) 追加された物品購入について、全て納品整備されたのか問う。</p> <p>(2) 中廊下式を採用したことにより、温度、湿度、通風、内部発熱、生徒発熱、CO2の発生量等、教室・児童への環境影響結果を問う。</p> <p>(3) 保健室に救命救急用の非常口を設置する方が望ましいと考えるが、どうか。</p>

3 炭本 範子	
質問事項：魅力ある木津川アートの成功に向けて	
質問要旨	<p>次回の木津川アート2018の開催は、恭仁宮を中心とした瓶原地域のようです。これを機に、瓶原を全国に発信できるチャンスだと思っています。それだけに住民の期待は大きなものです。この2年間でどう進むのか、今年度の取り組み等をお聞きします。</p> <p>(1) 木津川アートも定着してきましたが、深く印象に残ることや思い出は何か。どうPRできたか。</p> <p>また、恭仁宮を選んだ理由は何か。</p> <p>(2) 開催準備の今年度の取り組みとイベント開催の取り組みについて、また、来年にどうつなげるのか。</p> <p>(3) 「お茶の京都博」、木津川市開催の古田織部茶会との関係は。</p>
質問事項：瓶原の10年後を見据えて	
質問要旨	<p>恭仁宮の国分寺跡は、多くの市民の方が憩いの場として利用されています。小さな子どもも安全に遊べるので喜ばれています。その瓶原に住みたい、また、子どもを恭仁小学校に通わせたいと強く思われている人が増えています。それは、少子高齢化に歯止めがかけられずし、地域の活性化にもなると思います。希望を叶えるために行政ができる後押し施策は何か、どうすれば、恭仁小学校に通えるのかお伺いします。</p>

質問要旨	<p>(1) ① 瓶原に住みたい人のために行政ができることは何か。</p> <p>② 空家と空家バンクの状況は。</p> <p>③ 移住・定住の促進を進めるためには。</p> <p>(2) ① 恭仁小学校に通わせたい家庭のためにできる施策はあるか。</p> <p>② 恭仁小学校の現状、過去5年間の状況、今後の推移は。</p> <p>③ 特認校制度を考えては。</p>
------	--

4 森本 茂	
質問事項：待機児童問題について	
質問要旨	<p>安倍首相は、本年5月31日に、遅くとも2020年度末に待機児童をゼロに解消する「子育て安心プラン」を発表しました。</p> <p>政府は、25～44歳の女性の就業率を、現在の70.8%から2020年に77%にする目標を掲げていましたが、新プランでは、「2022年度末までの5年間で80%に引き上げる」と設定しました。そのために、約32万人分の保育の受け皿が必要と算出しています。しかし、実態に即した保育ニーズを把握できていないとの指摘が多岐であります。</p> <p>本市においては、平成29年4月1日現在において、保護者の私的な理由による待機児童は、22人と聞いていますが、今日現在では、もっと増えていると思われます。同時に、今後の城山台等の人口増に伴う保育園児の増加に対して、市長は、保育園および認定こども園は、充足しているとお考えですか。</p> <p>そして、待機児童をどのように解消しようと考えておられるのか、お伺いします。</p> <p>また、放課後児童クラブの待機児童は、何人かについてもお聞きします。</p>
質問事項：きづがわスマートウェルネスシティプロジェクトについて	
質問要旨	<p>生活環境の改善や医学の進歩等により、平均寿命は急速な伸びを示していますが、一方では、急速な高齢化や生活習慣の変化により、がんや心疾患、脳疾患、糖尿病などの生活習慣病および要介護状態になる人が増加し、生活の質の低下を招いているといわれています。</p> <p>そこで、木津川市策定の「すこやか木津川21プラン（中間評価）」の主旨を踏まえ、今年度より「きづがわスマートウェルネスシティプロジェクト」が始まることとなりました。</p> <p>そこで、現在の状況はどのようになっていますか。</p>
質問事項：防犯・防災対策の充実を目指して	
質問要旨	<p>最近、車上狙いが、多く発生しています。木津警察署の相楽交番から、交番速報が出ていました。「車上ねらいにご注意！！木津川市や隣町で連続発生！！平成29年3月下旬から4月にかけて、木津川市内や隣町のマンションの駐車場、お店の駐車場等において、無施錠の自動車や車の窓ガラスを壊して、現金や貴重品の入ったカバン等を盗む、車上ねらいの被害が連続発生しています。犯人は、車内に残されたカバンを狙っています。」というものでした。</p> <p>木津署によると、車上狙いは、平成28年1月から12月の総数が36件、自転車盗が124件、今年の1月から4月末の車上狙いは、13件（前年比－5件）で、自転車盗は24件（－10件）でした。5月23日、市内のガレージ内の乗用車からバッグ（計約8万円相当）を盗んだとして、26歳の会社員を緊急逮捕したと木津署が発表しました。しかし、この犯人が一連の車上狙いの犯人かどうかは分かっていません。</p> <p>また、市内では、花を植えているプランターごと盗んでいく、花泥棒も発生しています。</p> <p>そして、4月・5月以降に増加する小・中学生に対する見知らぬ人からの声かけ事案が発生しています。小学生に対しては、約7割が下校時間帯の午後3時から午後6時頃で、大多数が路上や公園で発生しています。中学生に対しては、登下校の時間帯である午前8時台、午後4時から午後8時頃で、約7割が路上・公園で発生し身体を触る、公然わいせつが大半です。「自分を守る防犯対策」を実践できるようにしておくのは、もちろんですが、私たちの街は、私たちが守ります！！“犯罪ゼロ”実行委員会を立ち上げ、「のぼり」の設置や、公園に防犯カメラの設置、青色パトの増強とパトカーの巡回の強化を要請すべきと考えます。市は、警察や防犯協会と連携して、どのような対策をお考えか、お伺いします。</p>

質問要旨	<p>次に、防犯対策について、お聞きします。今年3月に市制施行10周年を記念して「木津川市くらしのガイドブック」という、市民に役立つ情報誌として重宝しております。</p> <p>本市は、災害時にホームセンターやレンタル業者とも日用品等の提供を受ける協定を締結していると聞いておりますが、地域に複数あるコンビニ（協会）とも災害時の協定を締結すべきと考えますが、市の見解をお伺いします。</p> <p>本市の防災対策は、まずは、地域防災の要である、消防団の力をさらに増強することです。消防団への入団者数は、どのようになっていますか、お伺いします。そして、消防団詰所の耐震問題ですが、35カ所のうち、17カ所は、耐震基準を満たしており、今年度、1カ所を耐震調査を実施すると聞いています。それ以外の詰所として使用している17カ所は、どのように調査するのか、お伺いします。</p>
質問事項：シティープロモーションで将棋ブームを起こそう	
質問要旨	<p>今、将棋界で、注目を一身に浴びているのが藤井聡太（14歳）四段である。彼は、平成の神童と呼ばれ、プロになってから6月7日現在、公式戦23連勝と破竹の勢いであります。この23連勝の初戦の相手が、加藤一二三九段でありました。プロ棋士（四段）となる資格を得たのは、加藤一二三氏の14歳7カ月を62年ぶりに更新し、14歳2カ月の最年少記録であります。</p> <p>この加藤一二三九段は、福岡県嘉穂郡稲築村の出身ですが、木津川市と深い縁のある、棋界最古参の棋士であり、「神武以来の天才」の異名を持っておられる方です。小学校5年生の時、旧木津町に住んでおられた南口繁一八段の内弟子となり、木津小学校、木津中学校、木津高等学校を卒業し、高校3年卒業時に八段とされました。</p> <p>木津高校には、卒業の翌年に加藤一二三八段と南口繁一八段の連名で寄贈された将棋台と駒が今も校長室に飾られています。藤井聡太という「平成の天才棋士」に敗れはしましたが、これも時代の流れというか若者の台頭の表れであり、喜ばしいことと思われるものと推察しております。</p> <p>加藤一二三九段は、昭和43年度の第7期十段戦において、あの、大山康晴十段を破り、プロ15年目にして、初のタイトルを獲得されています。</p> <p>この加藤一二三氏の師匠である南口繁一八段と同世代の松田辰雄八段も旧木津町に住んでおられ、弟さんも六段であったと、元木津高校将棋部の部長から聞いております。</p> <p>また、将棋に関連して、木津川市加茂町に、将棋の駒を作っておられる駒師の熊澤良尊氏がおられます。駒づくり30年の方です。この方も南口繁一八段に将棋を習われたそうです。以上のように、木津川市は、将棋に縁のあるまちと言わざるを得ません。</p> <p>将棋は、コミュニケーションの場にもなるし、認知症対策にもなるのではないかと思います。木津川市出身といっても過言でない加藤一二三九段を市役所1階住民スペースで加藤氏等の写真と解説パネルと木津高校にある将棋台一式を借り受け、顕彰し、シティープロモーションに活用すべきと考えます。市長のご見解は。</p> <p>そしてまた、木津川市主催で、例えば「日本アマチュア将棋大会」などを催すべきと考えますが、市長のご見解をお伺いします。</p>
質問事項：土地の評価について	
質問要旨	<p>固定資産税は、地方税法により固定資産評価基準に基づき、毎年1月1日の利用状況を確認し、土地の評価を決定し、課税することとなっています。</p> <p>土地は、形状、立地、利用状況等さまざまな形態があり、一律的には評価しにくい状況であります。</p> <p>固定資産評価基準には、前記のようにいろいろな状況の土地について、事細かく明確に評価方法を記しているものではなく、一般的な事例について記載されているものと思われませんが、そうであるのか否か、お伺いします。</p> <p>そして、固定資産評価基準には、奥行き補正、間口狭小補正、不正形補正等、さまざまな補正率が定められていますが、これらの補正率とは別に、評価を行う各市町村長には、「所要の補正」を行うことが認められています。この「所要の補正」とは、どのような補正率であるのか、お伺いします。</p> <p>また、本市において「所要の補正」は行っているのか、お伺いします。</p> <p>固定資産税における価格については、「適正な時価」とされ、「適正な時価」を求めるために現状に応じた「所要の補正」を考慮されているものと考えますが。</p>

「適正な時価」とは、正常な条件の下に成立する当該土地の取引価格と最高裁判例でも示されています。

通常取引では、土地は千差万別であり、いろいろな要素が加わり価格が決まるものであります。例えば、極端ではあるが、同じ住宅用の宅地であっても下水道が完備された道路に面した土地か否かによっても大きく異なりますし、宅地の地盤面が道路より低いか高いかによっても異なります。

また、雑草が生えている宅地と樹木や竹林が茂っている宅地を比べると、当然、樹木や竹林を撤去する費用が、雑草の撤去より高いと考えられ、一般的には、土地の価格は竹林等が茂っている宅地のほうが価格は安いと考えられます。

本来このような土地については、「所要の補正」が必要であります。「所要の補正」を適用し、納税者が納得できる評価に改めるべきと考えます。

よって、納税者から異議申し立て等があった場合には、現地を再確認して「所要の補正」を検討し、納税者が納得する評価を行うべきと考えるものです。

固定資産税は賦課課税であり、申告課税ではないことから、市民の信頼と理解を得るためにも「所要の補正」が適正に運用されなければならないと考えますが、市の見解をお伺いします。